プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。



参加報告

一人では創れない未来

泗水中学校3年　齊藤（さいとう）ゆずさん

私が今回のプラチナin東京を通して一番感じたことは、仲間の大切さです。プラチナは、講師陣の話を聞き、答えのない問いについて班員みんなで考えるというもので、さまざまな考えに触れられて、良い刺激になりました。

私の班では、チューターの方以外だと私が一番年上だったので、まとめ役をすることが多くありました。6人の考えをまとめるのはとても難しく、そもそも考えが浮かびにくい問いを出されているので、話が停滞することも何度もありました。

しかし、停滞しても「違う観点から考えてみよう」「この視点からだと…」と、いろいろな角度から考えることで、話を進められることもありました。仲間がいることで、できることがたくさん増えるのだと強く実感しました。

中学生だけでは、考えを深めたり、まとめたりすることが難しくなった時、シニアのチューターさんや、大学生のチューターさんが助けてくれたのも心強かったです。考えが浅いときや、甘かった時も指摘してくれて、考え方や問いの捉え方を見直すことができました。本当の「まとめ役」の意味を知ることができたと思います。

講義の中で印象に残ったものは、菊池康紀（きくちやすのり）先生のバックキャスティングの話です。バックキャスティングとは、あるべき未来や自分が生きたい未来を先に具体化し、それを叶えるために今何をすべきかを逆算することです。

私の課題として、計画を立てても行動になかなか移せないというものがあります。このバックキャスティングをすることで、行動に移すことの大切さを自覚し、今の受験生という時間の過ごし方を大切にしたいと思いました。

また、6つの講義の中で共通して講師の方がおっしゃっていたのは、「自分から行動することの大切さ」です。今、社会では自主性が求められていますが、海外に比べると日本という国は自分から動くのではなく、指示に従うことの方が得意だというデータがあるそうです。

自分から新しい行動を起こす発起人になることは、相当勇気がいりますが、未来を作るためには、理想や考えをまとめるリーダー的な存在が必要不可欠になります。今、学校で委員長の仕事をさせてもらっている身としても、この経験を生かし、社会に役立てていけたらと思います。

しかし、リーダーだけが頑張っても、意味がありません。ついてくる「フォロワー」がいないと、組織として成立しないからです。だから、リーダーにはフォロワーをつかせるための力も必要になってきます。誰からも信頼されるような人を目指したいと思いました。

今、未来のことは確実に分かるわけではないけど、未来を実現させるためにはそれなりの努力が必要です。だから、私は自分の将来のために、できることを全力で頑張ります。そして、小さなことでも、一人一人が全力を尽くせば、必ず変わることはあるということを広めていきたいです。

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナin東京に参加をして

泗水中学校3年　右田（みぎた）悠梨（ゆうり）さん

私がプラチナin東京に参加をし、何よりも大切だと思ったのは仲間の存在です。プラチナでは正解のない問いについて考えていきました。しかし、正解がないため、自分一人だけで答えを出すことはとても難しかったです。でも、仲間がいることでお互いに考えを出し合い、意見の改善点などを話し合うことができ、正解のない問いについて、とても考えやすかったです。

また、グループ全員がそれぞれの得意分野を生かして協力することで、スムーズにグループワークを進めることができ、あらためて仲間の大切さを学ぶことができました。また、6人の講師の方の講義から、未来にどのようなことが起こり、これからの自分には何ができるのかを考えることができました。

講義の中で、特に印象に残っているのは、菊池康紀（きくちやすのり）先生の講義にあったリーダーとフォロワーの話です。例えばクラスにリーダーだけいても、リーダーの行動を支えてくれるフォロワーが一人もいなければ、そのリーダーの行動は広がらずにクラス全体を動かす力はなくなっていきます。

また、そのクラスにフォロワーがたくさんいても、リーダーがいなければ誰も自分から行動を起こすことはなく、その場合もクラス全体をよりよい方へ動かすことはできなくなります。このように、リーダーとフォロワーのどちらか一方だけいても上手くいかないからこそ、どちらの立場の人も大事という話でした。

この話を聞いて私は、どちらかといえばフォロワーよりもリーダーの立場として行動することが多いのかなと思いました。そして、もし自分が勇気を出して行動をしたのに、フォロワーとなる人がおらず、誰も支えてくれずに周りから無視されたようになってしまったら、とても悲しいなと思いました。

だからこそ私は、リーダーとして行動するだけでなく、周りでリーダーとして行動してくれた人を支えてあげられるフォロワーとしても行動できる人になりたいと思いました。また、リーダーとして行動するときはフォロワーを大事にできる人になりたいと思いました。

さらに、この話を同じ学校の人たちに伝えていき、自分のクラス、そして、学校をよりよい方向に動かしていけるように、リーダーの立場の人、フォロワーの立場の人が協力できるクラス、学校にしたいと思いました。

最後にプラチナで話をしてくださった講師の方たちが、私たち中学生に大切にしてほしいことをおっしゃっていました。その中で私が特に大切にしたいと思ったことがあります。それは、出会いから生まれる機会が多いので、自ら動くことが大切ということです。

実際にプラチナに参加して、自ら動いたことで、いろんな人との出会いがあり、たくさんのことを学ぶことができました。そのため、自分から動くことはとても大切なことだと感じています。このことから、これから私は誰かに言われてするとか、まわりがやっているからするとかではなく、自分からするということ、そして出会いがあれば、その出会いを大切にしていける人になりたいと思いました。

プラチナに参加し、たくさんのことを学ぶことができたので、プラチナin東京に参加することができ、本当に良かったです。